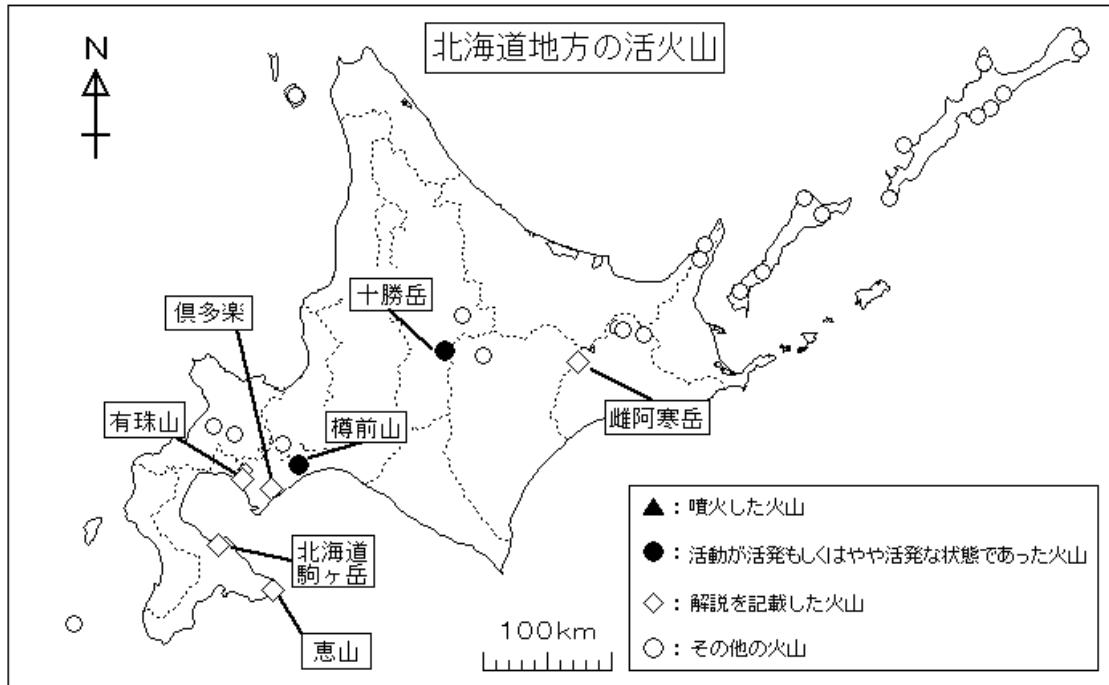


北海道地方の火山活動解説資料（平成 18 年 12 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



【12月の活動概況】

十勝岳、樽前山では、引き続き火山活動はやや活発な状態となっています。

◇雌阿寒岳 [静穏な状況]

地震活動や噴煙活動は低調な状態が続いており、火山活動は静穏な状態です。

◇倶多楽 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状態です。

●十勝岳 [やや活発な状況]

62-2火口では2006年1月以降、噴煙活動及び火口温度に低下傾向がみられているものの、熱活動は依然としてやや活発な状況です。火山活動はやや活発な状況で経過していますので、火口周辺では引き続き注意が必要です。

◇有珠山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状態です。

◇北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている昭和4年火口からの弱い噴気は引き続き観測されています。

●樽前山 [やや活発な状況]

A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いていると推定されます。火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口周辺では注意が必要です。

◇恵山 [静穏な状況]

火山活動に特段の変化はなく、静穏な状態です。

次の火山活動解説資料（平成 19 年 1 月分）は平成 19 年 2 月 8 日公表の予定です。この資料はホームページでも閲覧することができます（札幌管区气象台 <http://www.sapporo-jma.go.jp> 気象庁 <http://www.jma.go.jp>）。

この火山活動解説資料は気象庁の他、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び北海道のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。